saxa

デジタルコードレス電話機

DC600電話機 取扱説明書

（DC230電話機対応の主装置でお使いになる場合）

このたびは、ＤＣ６００電話機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

◆ ご注意 ◆

（１） 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
（２） 本製品の故障や誤動作、停電あるいは、天災などにより、本製品が使えなかったことによる付随的損害保証については当社では、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
（３） 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので、絶対におやめください。
（４） 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
（５） 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（６） 本書に記載されている内容の一部または全部を無断記載・無断複写することは固くお断りいたします。

目　次

① はじめに

ご案内……1
略図の説明……1
各部の名称……2
ご使用前の注意事項……5
各種音量の調節……8
着信音量を調節する（着信音量調節）……8
受話音量を調節する（受話音量調節）……8
ボタン押し下げ音を停止する（キー押下音）……8

② DC600独自機能編

名前を確認してから電話をかける（電話帳機能）……9
登録のしかた……9
かけかた……10
変更のしかた……10
一件削除のしかた……11
全件削除のしかた……11
発信履歴機能を利用して電話をかける……12
電話機のボタン操作を規制する（キーロック）……12
マナーモード……12
公衆モード……13
電話をかける……13
電話帳を使ってかける……13
電話を受ける……13
発番号を通知する／通知しない……14
料金分計サービス……14
留守番電話サービス……14
着信拒否設定……15
指定着信拒否……15
ドライブモード（安全運転モード）……16
メール機能……17
着信自動応答回数の設定……19
アンテナサーチ……19
機能モード……20
機能モードの使いかた……20
機能項目一覧……20
自局番号表示……23
発信モードの確認……23
発信モードの設定……23
パスワードロックの設定／解除……23
動作モードの設定……24
着信音種の設定……25
リレー着信機能の設定……25
付加ダイヤルの設定……25
キーモード設定……26
ワンタッチダイヤルの設定……26
電話帳ボタンの設定……27
電話帳の初期表示設定……27
パスワードの設定……27
LCDコントラスト調節……28
バックライト点灯時間の設定……28
LCD表示サイズの設定……28
圏外警告音の設定……28
時計の設定……29
アラームの設定／解除……29
マイネームの設定……29
全設定初期化……30

③ さいごに

故障かな？とお考えになる前に……31
文字、番号入力のしかた……32

①はじめに

ご案内

DC600電話機は、DC230電話機と外観寸法、形状が異なりますが、通常の使いかたは同じです。ただし、一部の機能や子機独自機能についてはDC230電話機と異なります。本取扱説明書は、この異なる機能の操作方法について記載します。
お客様には、大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承いただきますようお願い申し上げます。

※ 本取扱説明書は、DC230電話機対応の主装置でお使いになる場合にご利用ください。

●お使いになる場合の注意事項について

① 外線ボタン7、8は、子機独自機能のワンタッチボタンとしてご利用できます。
※ キーモード設定を必ず「システム（6Line）」に設定してください。（ ☞ 26ページ）

② MFキー／確定ボタンは、ローカル電話帳や機能モード（各種設定）など、子機独自機能（ ☞ 9ページ）でのみ、ご利用できます。

③ システムの機能をご利用になる場合、お使いの主装置に添付された取扱説明書のDC230電話機項目をご覧ください。ただし、DC230電話機のボタンは、下表のとおりDC600電話機のボタンに置き換えて参照してください。

DC230電話機	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ＊ ＃			内線	フック 機能/クリア	コール 文字/P	保留 再送/決定
DC600電話機	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ＊ ＃		電源	内線	フック	文字	クリア 保留

略図の説明

充電器から上げている状態を基本とします。

略 図	操作説明
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ＊ ＃	ダイヤルボタンを押す
	発信／応答ボタンを押す
	確定ボタンを押す

略 図	操作説明
電源	切／電源ボタンを押す
フック クリア 保留 内線 文字	各機能名称のボタンを押す
	MFキーの上下左右を押す

各部の名称

DC600子機

着信／充電ランプ
着信のときに赤ランプが早く点滅します。
また、充電中は赤ランプが点灯し、充電完了で緑ランプが点灯します。

外線ボタン／ランプ
ボタン1～6は外線/オートダイヤルボタン、または各種機能ボタンとして利用できます。
ボタン7、8は、DC600独自機能のワンタッチボタンとして利用できます。
- 外線利用時、自分が使用中のときは緑色、他人が使用中のときは赤色で点灯します。
- 保留したあとに☎電源ボタンを押したときのランプ表示は変化することがあります。

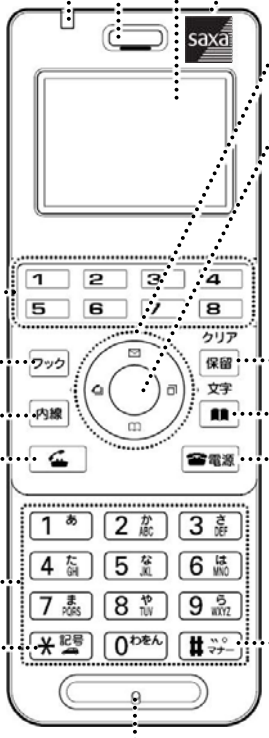
フックボタン
キャッチホンサービスなどを受けるときに使います。

内線ボタン／ランプ（緑色）
内線をかけるときに使います。ランプは内線通話中に点灯します。

発信／応答ボタン／ランプ（緑色）
電話をかけるときや電話を受けるときに使います。電話をかけるとき、発信／応答ボタンを押すと未使用の外線を自動的に捕捉します。
ランプは外線通話中に点灯します。

ダイヤルボタン
ダイヤル時や文字入力などに使います。

アスタリスクボタン
ダイヤル時に長く押すとポーズを入力できます。



内蔵アンテナ
- 通話のときに、内蔵アンテナ部分を手で覆わないようにしてください。

MFキー
表示部のメニュー選択や、電話帳検索のスクロールキーなどに使います。

確定ボタン
表示部のメニュー選択や、電話帳検索などの確定ボタンとして使います。

保留／クリアボタン
保留　：会社モードでの外線・内線通話を保留するときに使います。
クリア：メニューを操作で一つ前の画面に戻すときに使います。また、ローカル電話帳を登録する際、データの一部消去に使います。

電話帳／文字ボタン
電話帳：ローカル電話帳を登録するとき、または登録した電話帳を利用して電話をかけるときに使います。また、電話帳検索の際、検索モード（名前検索、メモリ番号検索）の切り替えに使います。
文　字：電話帳に名前や電話番号などを登録する際、文字種別の切り替えに使います。

切／電源ボタン
通話を終了するときに使います。また、電源を入れたり、切るときは長く押し続けます。
- 通常は電源を入れた状態で使用します。長時間お使いにならないときは電源を切ってください。

シャープボタン
待ち受け状態で長く押すとマナーモードを設定（または解除）できます。

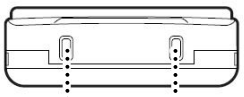
【左面】

通信ケーブルコネクタ※1
USB ケーブルでPCと接続し、電話帳の編集に使います。

スピーカ
各種呼出音などが聞こえます。

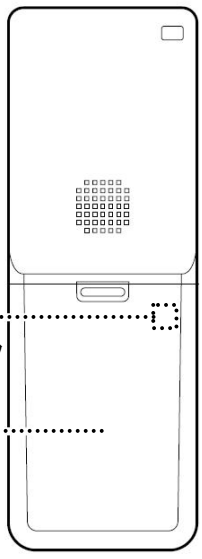
イヤホンマイクコネクタ※1
イヤホンマイク（市販品）のプラグを接続するコネクタです。

【底面】



充電端子
電池パックを充電するための端子です。

【背面】



充電コネクタ
電池パックを接続するためのコネクタです。

電池カバー

※1 爪先などでゴムキャップを矢印方向（⬇）へ押しながら持ち上げるとコネクタがあります。

● DC600子機（DC600PS）と接続装置（DC600CS）を組み合わせて使用します。

製品名	DC600PS	DC600CS
JATE認証番号	A07－0220001	ACD05－0354001

接続装置

アンテナ

アンテナを立ててお使いください。

電源ランプ（赤色）

通電中のときに点灯します。

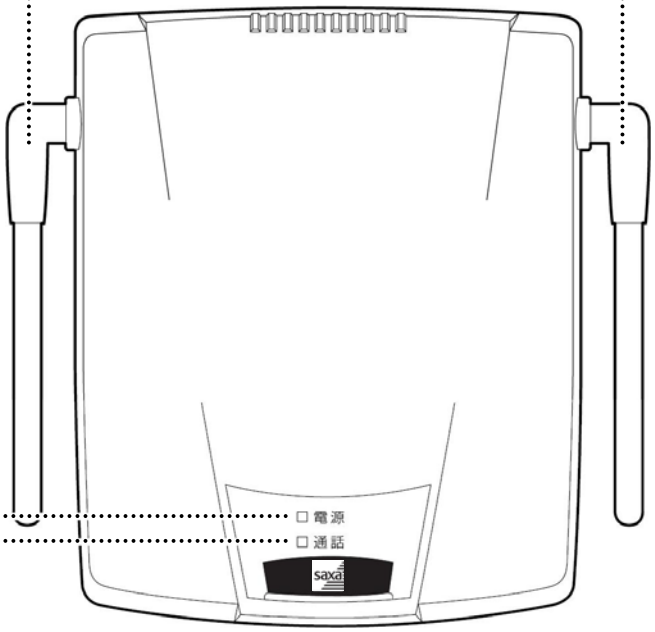
- 消灯のときは電源が供給されていません。
- 電源供給直後は一時的に点滅します。

通話ランプ（緑色）

通電中のときに点灯します。

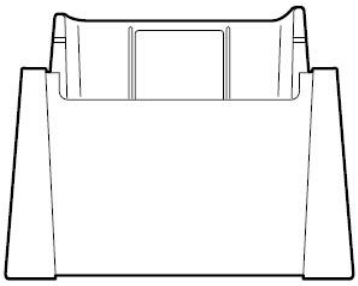
点灯	正常状態です。
点滅	無線のチャンネルを使用している状態です。（通話中などのとき、点滅します）

- 電源供給直後は数秒間点滅します。
- 両ランプの点灯または点滅パターンが上記以外か、消灯している場合は、故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

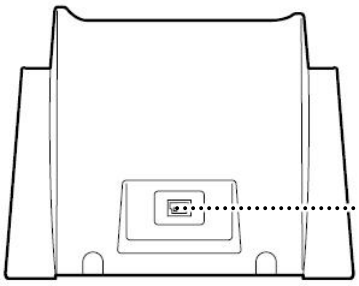


充電器

【正面】



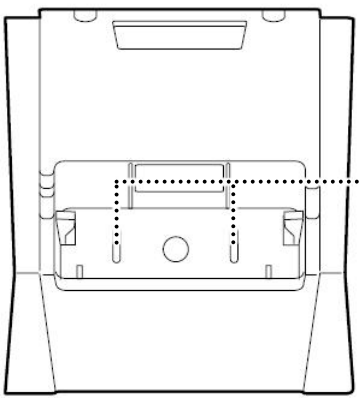
【背面】



電源ジャック

付属のACアダプタを接続します。

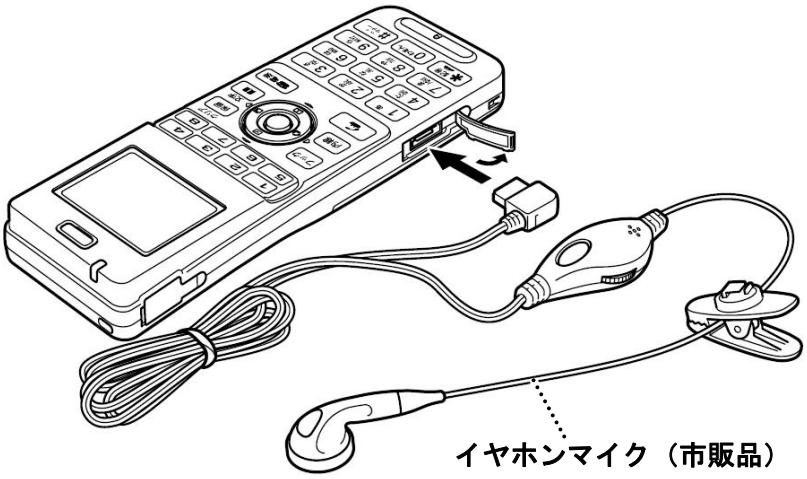
【上面】



充電端子

イヤホンマイク用コネクタ

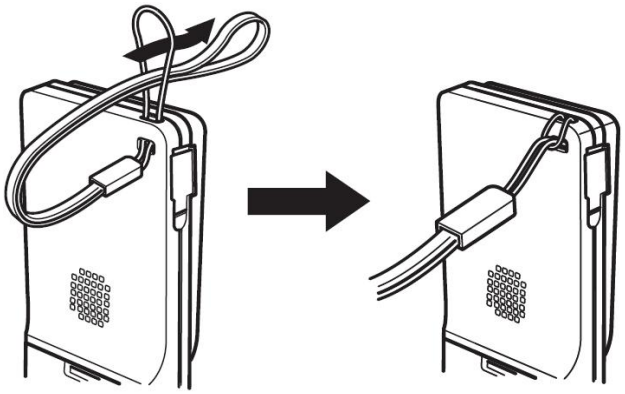
イヤホンマイク（市販品）のプラグを接続するコネクタ。
平型プラグ方式のものを使用してください。



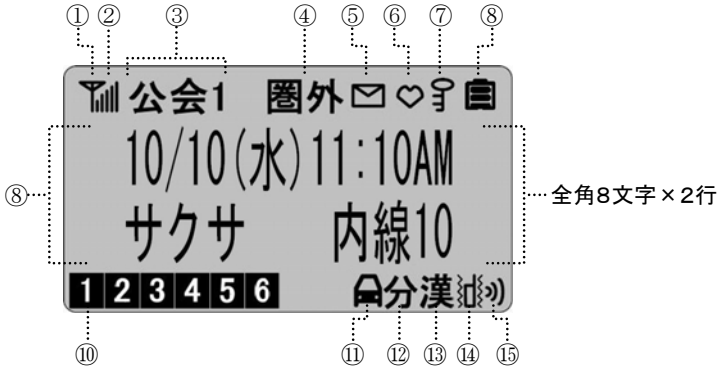
イヤホンマイク（市販品）

ハンドストラップの取り付けかた

ハンドストラップの取り付け方法は次のとおりです。



表示部

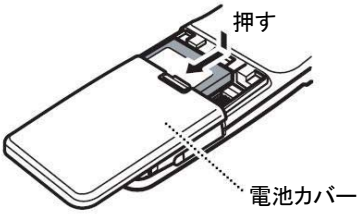


番号	表示例	内容
①		接続装置の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに表示する
②		5段階の電波の強さ(電界強度)を表示する
③	公、会1 (公、会1)	接続装置の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに、設定中の動作モード(公衆モード:公、会社モード:会1)を表示する 会社1、公衆モードの2面待受けに設定した場合、優先的に発信するモードの待受け状態表示を反転(公衆モード:公、会社モード:会1)させて表示します。ただし、片方のモードが圏外の場合は、反転表示しません
④	圏外	電波の届かない場所にいると表示する
⑤		未読メールがある場合に表示する(公衆モード利用時のみ)
⑥	(または)	マナーモード( )やユーザーモード( )に設定すると表示する
⑦		不正利用防止のパスワードロックを設定すると表示する
⑧		電池残量を4段階で表示する
⑨	10/10(水)11:10AM サクサ 内線10	カレンダー、時計、名前、電話番号、内線番号などを表示する
⑩	1 2 3 4 5 6	外線(または機能割り付け)ランプと連動して表示する
⑪		ドライブモードに設定すると表示する(公衆モード利用時のみ)
⑫	分	分計発信モードに設定すると表示する(公衆モード利用時のみ)
⑬	漢	文字入力時のモードを表示する
⑭		バイブレータを設定すると表示する
⑮		待ち受け中または着信中は5段階の着信音量を表示する。また、通話中は3段階の受話音量を表示する

ご使用前の注意事項

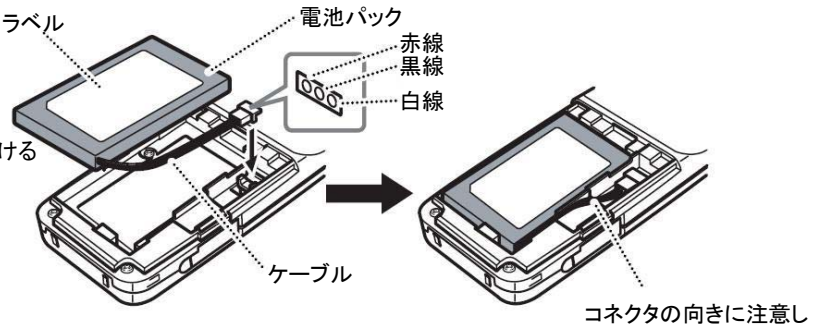
1. 電池パックを取り付ける

① 電池カバーを押しながら、スライドさせて電池カバーを取り外す。



② ラベルを上面にして、電池パックを取り付ける

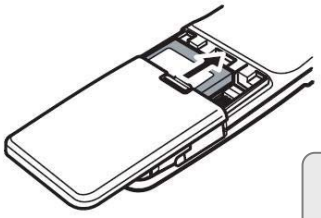
● ケーブルはしっかりと差し込み、はさまないように注意して収納してください。



コネクタの向きに注意してください。
※赤いケーブルが左側にきます。

③ 電池カバーを取り付ける

● 電池カバーで電池パックのケーブルをはさみ込まないように注意してください。



MEMO

DC600子機の電源が入ったままで電池パックを取り出すと、故障の原因となります。

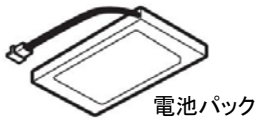
電池パックの交換

電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。電池パックは消耗品です。いっぱいに充電しても、続けて通話できる時間が極端に短くなった場合は新しい当社指定の電池パック(BP3772L-A)をお買い求めのうえ交換してください。

● 電池パックの購入方法については、お買い上げになった販売店などへお問い合わせください。

リサイクル推進へのお願い

電池パックはリサイクル可能な貴重な資源です。電池交換などで使用済みの電池を廃棄するときは、お買い上げになった販売店または、お近くのリチウムイオン電池リサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル推進に協力をお願いいたします。

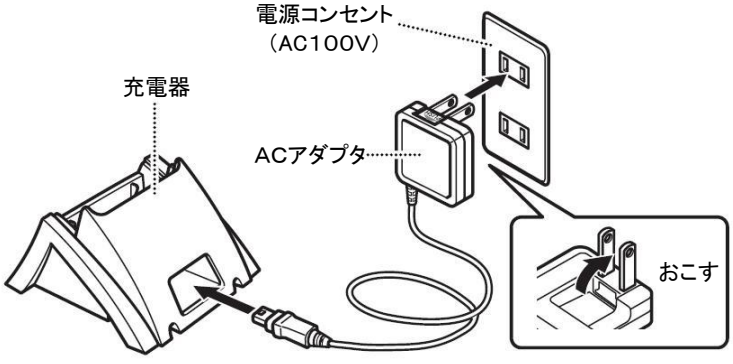


2. 充電する

ACアダプタの接続およびDC600子機の充電は、次のようになります。

はじめてお使いになるときや、新しい電池パックに交換したときは、必ず3時間以上、充電してください。

① ACアダプタを充電器と電源コンセントに差し込む。

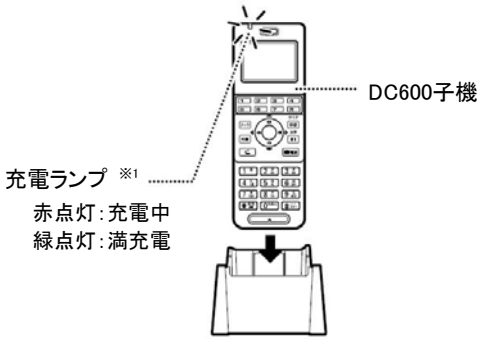


つづく➡

② 図のようにDC600子機を充電台に置く。

- 充電を開始します。
- DC600子機を充電台に置くとき、方向を間違えると充電できません。

※1 充電ランプが点灯しない場合は、再度DC600子機を充電台に置き直してください。
それでも、充電ランプが点灯しない場合は、充電端子が汚れていないかを確認してください。



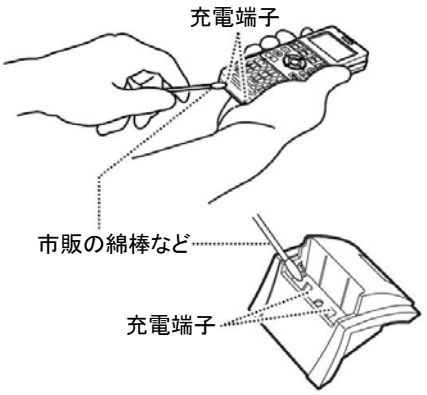
MEMO

- 充電中のDC600子機や充電器、およびACアダプタは温かくなりますが、異常ではありません。
- 満充電後の使用可能時間
  連続通話をする場合……約8時間、連続待ち受けの場合……約250時間 ※2、※3
  ※2 通話をしないで電源が入った状態で、接続装置の電波だけを正常に受信できる平均的な時間です。それ以外は短い時間となります。
  ※3 発信モードの設定（ ☞ 23ページ）を「会社1・公衆モード」または「公衆・会社1モード」に設定した場合は、連続待ち受け時間が短くなります。
- 充電器は平らなところに置いてください。充電器が傾いていると充電できない場合があります。
- DC600子機は、電源が「入」・「切」のどちらでも充電できます。
- ACアダプタのDCプラグ（USB-miniB）を直接、DC600子機の通信ケーブルコネクタに差し込むことで、電池パックの充電が可能です。
- PCとUSBケーブルで接続することで、電池パックの充電を行うことができます。ただし、PCの種類によっては、充電できないものがあります。
- PCとUSBケーブルで接続すると、PC画面に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されますが、キャンセルしてください。

●充電端子のお手入れ

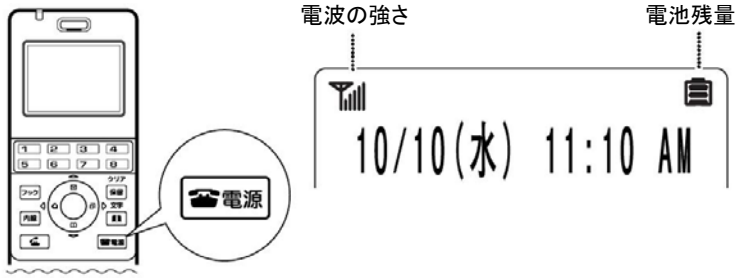
① DC600子機と充電器の充電端子（金属の部分）は、いつもきれいに保つようにしてください。
② 充電端子が汚れていると充電できなくなることがありますので、月に1回または汚れているときは、やわらかい布でからぶきするか、市販の綿棒などでふいてください。

- シンナー、ベンジンなどを使用すると表面を傷めたり、変色したりすることがありますので使用しないでください。



3. 電源を入れる／電源を切る

電源を入れたり、切るときは☎電源を長く押し続けます。
※ 電源が入ると「カレンダー・時計」が表示されます。



MEMO

- 電源を一度切って再度、電源を入れる場合は、3秒以上待ってから入れます。

●電波の強さ

接続装置からの電波状態を6段階で表します。

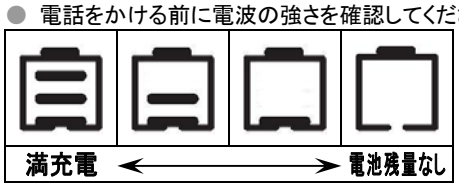
- 電話をかける前に電波の強さを確認してください。

強	受信状態が良好です。
弱	電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。（電波状態の良い場所へ移動してください）
圏外	電話をかけることも受けることもできません。また、一時的に圏外となっている場合は、発信できることもあります。 ・ 圏外に近づくと、警報音「プップッ……（断続音）」が鳴り、圏外に出ると通話が切れます。

●電池残量

電池残量を4段階で表します。

● 電話をかける前に電波の強さを確認してください。



通話中に電池残量なしの状態になると、電池切れ警告音が「ピーッピーッ」と30秒ごとに鳴ります。

※ 充電異常が表示された場合は、すぐに電源を切り、販売店にご相談ください。

MEMO

- DC600子機の内線番号や名前などの待機時表示を変更しても、その内容が更新されないときは、再度、発信捕捉したあとに切る操作をしてください。
  - 他の電話機を使って変更したときも、対象となるDC600子機で上記の操作をしてください。
- DC600子機の時計データ（年月日、曜日、時分）は、システムから自動的にダウンロードされます。
  - 他の電話機の時計表示とは一致しないことがあります。（誤差が生じます）
  - 待機状態のカレンダー・時計表示形式は、他の電話機と異なります。
  - システムのカレンダー・時計設定をしたときや電池パックを取り外したときなどは、DC600子機で発信を捕捉し、他の多機能電話機での時刻（分）表示が変わるのを待って切る操作をすると、時計データをすぐに更新することができます。
- DC600子機は、電源が「入」・「切」のどちらでも充電できます。

各種音量の調節

●着信音量を調節する(着信音量調節)

着信鳴動中に◇を押すことにより、着信音量を切・小・中・大・漸増の5段階に調節できます。

- 着信鳴動中に変更した音量は、「カレンダー・時計」表示になると、元の設定音量に戻ります。
- 設定音量は、ご使用中の動作モードの着信音量設定(☞ 24ページ)から変更できます。
- お買い上げ時は「中(通常モード)」です。

着信中の画面表示

切	⇔ 小	⇔ 中	⇔ 大	⇔ 漸増

MEMO

- ドアホン呼出音以外の着信音は、その鳴動中に☎電源を押すと、着信音が停止します。
- 着信音量を「切」に設定すると、工事設定に関係なく着信音は鳴動しません。夜間モードのとき工事設定により、着信音が鳴動しないことがあります。夜間モード設定状態の確認については、お使いの主装置に添付された取扱説明書を参照してください。なお、DC600電話機からは確認できません。
- 外線着信、内線呼出、ドアホン呼出などの着信後に、「着信あり」の表示が残ることがありますが、☎電源を押すと「カレンダー・時計」表示に戻ります。

●受話音量を調節する(受話音量調節)

通話中に◇を押すことにより、受話音量を小・中・大の3段階に調節できます。

- 通話中に変更した音量は、「カレンダー・時計」表示になると、元の設定音量に戻ります。
- 設定音量は、ご使用中の動作モードの受話音量設定(☞ 24ページ)から変更できます。
- お買い上げ時は「大(通常モード)」です。

通話中の画面表示

小	⇔ 中	⇔ 大

●ボタン押し下げ音を停止する(キー押下音)

ボタン押し下げ音は、ご使用中の動作モードのキータッチトーン設定(☞ 24ページ)から変更できます。

②DC600独自機能編

名前を確認してから電話をかける(電話帳機能)

ローカル電話帳には最大400件のデータが登録できます。(登録した電話機からのみ利用できます)
1件あたり、全角8文字(半角16文字)の名前、半角カタカナ12文字の読み仮名、および2件の電話番号が登録できます。
登録しておくと簡単な操作で、相手の名前と電話番号を表示部で確認しながら電話をかけられます。

●登録のしかた

1 ●を押す
- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2 5 な JKL を押す
- 電話帳設定メニュー表示になります。

3 ◎を押して[新規登録]を選択し、●を押す

4 電話番号1を入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 入力しない場合は、●だけを押してください。

5 電話番号2を入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 入力しない場合は、●だけを押してください。

6 名前を入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 全角で最大8文字(半角16文字)入力できます。
- 漢字変換は文字入力後、◎で候補を選択し、●で確定します。
- 文字 で文字入力モードを切り替えます。
  全角漢字(漢)→全角カナ(ア)→半角カナ(ｱｲ)→全角英字(A)→半角英字(AB)→数字(12)を繰り返します。
- 入力しない場合は、●だけを押してください。

7 読み仮名を入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 半角で最大12文字入力できます。
- 文字 で文字入力モードを切り替えます。
  半角カナ(ｱｲ)→半角英字(AB)→数字(12)を繰り返します。
- 入力しない場合は、●だけを押してください。

8 ◎を押して[はい]を選択し、●を押す
- 電話帳に登録され、手順3に戻ります。

MEMO

- 入力できる文字は、DC600電話機のローカル機能(☞ 32ページ)をご覧ください。
- クリア 保留 を押すと最後の1文字(カーソル位置)を消去します。

●かけかた

1 ◎を押す
- 登録済みの電話帳を五十音順に一覧表示します。

2 ◎を押して発信する相手を選択し、●を押す
- 文字 で検索モードを切り替えます。
  名前検索→メモリ番号検索を繰り返します。
- 名前検索は、ダイヤルボタンで読み仮名を入力すると、該当する電話帳が先頭に表示されます。
- メモリ番号検索は、ダイヤルボタンでメモリ番号を入力すると、該当する電話帳が先頭に表示されます。

3 ◎を押して電話番号を選択し、●を押す

4 ◎を押して[発信]を選択し、●を押す

5 ◎を押して[付加ダイヤル]を選択し、●を押す

6 ◎を押して電話番号の前に付加する番号を選択し、●を押す
- お買い上げ時は、「184」(非通知)、「186」(通知)が選択できます。
- 184／186以外に2件の付加ダイヤルを設定できます。(☞ 25ページ)

7 ◎を押して[外線発信]を選択し、●を押す

MEMO
- 電話帳を起動したときの検索モード(名前検索、メモリ番号検索)が設定できます。(☞ 27ページ)
- 手順4のあと、付加ダイヤルをしない場合は、手順7へ進みます。

●変更のしかた

1 「かけかた」の手順1～3の操作をする

2 ◎を押して[編集]を選択し、●を押す

3 電話番号1を変更し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 変更しない場合は、●だけを押してください。

4 電話番号2を変更し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 変更しない場合は、●だけを押してください。

5 名前を変更し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 全角で最大8文字(半角16文字)入力できます。
- 漢字変換は文字入力後、◎で候補を選択し、●で確定します。
- 文字 で文字入力モードを切り替えます。
  全角漢字(漢)→全角カナ(ア)→半角カナ(ｱｲ)→全角英字(A)→半角英字(AB)→数字(12)を繰り返します。
- 変更しない場合は、●だけを押してください。

6 読み仮名を変更し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 半角で最大12文字入力できます。
- 文字 で文字入力モードを切り替えます。
  半角カナ(ｱｲ)→半角英字(AB)→数字(12)を繰り返します。
- 変更しない場合は、●だけを押してください。

7 ◎を押して[はい]を選択し、●を押す
- 電話帳に登録され、一覧表示に戻ります。

MEMO
- 入力できる文字は、DC600電話機のローカル機能(☞ 32ページ)をご覧ください。
- クリア 保留 を押すと最後の1文字(カーソル位置)を消去します。

●一件削除のしかた

1 「かけかた」の手順１～３の操作をする

2 ◎を押して[一件削除]を選択し、●を押す

3 ◎を押して[はい]を選択し、●を押す
- 選択した電話帳を削除し、一覧表示に戻ります。

●全件削除のしかた

1 ●を押す
- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2 5 な JKL 3 さ DEF を押す
- 電話帳の全件削除メニュー表示になります。

3 ◎を押して[はい]を選択し、●を押す
- パスワード入力画面を表示します。

4 ４桁のパスワードを入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- お買い上げ時は、「0000」です。
- 電話帳が全件削除されます。

MEMO

- 削除すると復元できなくなりますので、ご注意ください。
- パスワードの設定方法については、「パスワード設定」（☞ 27ページ）を、ご参照ください。

発信履歴機能を利用して電話をかける

DC600電話機の持つ発信履歴は最大20件までの発信を記録できます。
履歴情報からリダイヤルまたは電話帳への登録ができます。

1 ◎を押す
- 発信した電話番号の最新から表示します。
- ◇を押して、発信履歴の1～20のいずれかを選択します。

2 [☎]を押す
→未使用[外線]ランプ：緑点灯
→[☎]ランプ：緑点灯

MEMO

DC600電話機が持つ、発信履歴機能の留意事項について
- プリセットダイヤルで発信したときのみ記録されます。
- 電池が無くなると発信履歴に記憶された電話番号が消える場合があります。
- 短縮ダイヤルおよび指定外線捕捉の電話番号は発信履歴の番号として記憶されません。

電話機のボタン操作を規制する(キーロック)

電話機からのボタン操作を規制できます。

キーロックの設定

1 「カレンダー・時計」表示状態で[フック]を押し続ける
- [フック]と[☎電源]以外は無効となります。
- 着信応答のための[☎]、[外線]、[内線]は有効です。
- 「キーロック」が表示されます。

キーロックの解除

1 「カレンダー・時計」表示状態で[フック]を押し続ける
- 「キーロック」が消灯されます。

マナーモード

ワンタッチで動作モードをマナーモードにすることができます。

マナーモードの設定

1 「カレンダー・時計」表示状態で[#マナー]を押し続ける
- マナーモードが設定され、♡を表示します。

マナーモードの解除

1 「カレンダー・時計」表示状態で[#マナー]を押し続ける
- マナーモードが解除され、♡が消えます。

公衆モード

公衆モードでご利用の場合は、多くの付加サービスに対応しているウィルコムへ加入ください。
詳しくはお買い求めになられた販売店にご相談ください。

- 110番、119番通報時におけるご注意
  （1）移動しながらの通報は、通報中に電話が切れてしまうことがありますので、いったん止まった状態で通報してください。
  （2）PHSからの通報であることを伝えてください。なお、通報場所などが不明の場合は、表札、電柱、看板などで確認するか、付近の住民に聞くなどして、所在、目標をはっきり確かめてから通報してください。
  （3）通報終了後、当庁側からお問い合わせのため、呼び出しすることがありますので、約10分間はPHSの電源を切らないでください。
  （4）所在などが不明な場合は、近くの公衆電話などを利用して通報してください。
  （5）消防・救急（119番）へは、一部地域で接続できない場合があります。

●電話をかける

1 電話番号を押す

2 [発信]を押す

- [発信]ランプが緑速点滅し、そのあと緑点灯に変わり発信します。
- 相手が応答すると通話時間表示になります。

MEMO

- [発信]を押してからダイヤルしても発信することができます。
- 市内通話をかける場合でも、必ず市外局番を押してください。
- 電話番号にサブアドレス（内線番号など）を付加して発信する場合は、手順1の相手先電話番号を押した後に[＊記号]を押し、サブアドレスを押してください。

●電話帳を使ってかける

1 ◎を押す

- 登録済みの電話帳を五十音順に一覧表示します。

2 ◎を押して発信する相手を選択し、●を押す

- [文字]で検索モードを切り替えます。
  名前検索→メモリ番号検索を繰り返します。
- 名前検索は、ダイヤルボタンで読み仮名を入力すると、該当する電話帳が先頭に表示されます。
- メモリ番号検索は、ダイヤルボタンでメモリ番号を入力すると、該当する電話帳が先頭に表示されます。

3 ◎を押して電話番号を選択し、●を押す

[発信]を押す

- [発信]ランプが緑速点滅し、そのあと緑点灯に変わり発信します。
- 相手が応答すると通話時間表示になります。

●電話を受ける

1 着信音が鳴る

→[発信]ランプ：緑点滅

- 電話帳に電話番号が登録されている場合は、登録されている名前を表示します。
- 発信側が発番号非通知発信の場合、相手の電話番号は表示されません。

2 [発信]を押す

- 着信に応答すると通話時間表示になります。
  →[発信]ランプ：緑点灯

●発番号を通知する／通知しない

公衆モードで発信者番号を通知するか、しないかの設定ができます。
● お買い上げ時は、「通知する」です。

1 ●を押す
・「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
・ 機能メニュー表示になります。

2 6 は MNO 3 さ DEF を押す
・ 発番号通知設定メニュー表示になります。

3 ◎を押して[通知する]か[通知しない]を選択し、●を押す
・ 選択した内容を設定します。

●料金分計サービス

料金分計サービスは、分計発信の指定をした通話料金の請求先を、通常とは別にすることができるウィルコムが提供するサービスです。ご利用に際しては、別途申し込みが必要です。(有料)
● 分計発信モード時に発信通話した場合、通話料金は第2請求先へ請求されます。
● 一度設定した分計発信モードを解除する時は、待ち受け画面で、電源を押します。
● 分計発信モードで発信したあと、分計発信モードは解除されます。
● 発信履歴に分計発信の情報が表示されます。リダイヤルも分計発信されます。

1 ●を押す
・「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
・ 機能メニュー表示になります。

2 6 は MNO 4 た GHI を押す
・ 分計発信モードに設定されます。そのあと数秒後に待ち受け状態に戻り、”分マーク”を表示します。

●留守番電話サービス

電源を切っているときや、圏外にいるときに電話がかかってきた場合、留守番電話センターで相手のメッセージを録音し、あとで聞くことができます。
留守番電話サービスはウィルコムの付加サービスです。ご利用に際しては、別途申し込みが必要です。(有料)
● メッセージの再生などの操作については、留守番電話サービスに契約されたときのマニュアルをご覧ください。
● 「メッセージあり」の表示は、メッセージを再生したあとで消えます。ただし、電池パックを取り外すとメッセージを再生していなくても表示されなくなります。

公衆モードで通話を終了したとき、メッセージが録音されていると「メッセージあり」と表示します。
→着信ランプ:遅点滅

●着信拒否設定

発信者番号を通知してこない着信の場合、電話を受けないように設定できます。
- 発信者番号を通知してこない着信には、以下の3種類があります。
  （1）通知不可能　　:発信者番号通知に対応していないネットワークからの電話のため、通知できません。
  （2）ユーザー非通知 :発信者側が非通知設定をしているため、通知できません。
  （3）公衆電話発信　:公衆電話からの発信のため、通知できません。

設定のしかた（通知不可能の場合）

1 ●を押す
- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2 6 は MNO 1 あ 1 あ を押す
- 通知不可能の非通知着信拒否設定メニュー表示になります。

3 ◎を押して[許可]か[拒否]を選択し、●を押す
- 選択した内容を設定します。

設定のしかた（公衆電話発信の場合）

1 ●を押す
- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2 6 は MNO 1 あ 3 さ DEF を押す
- 公衆電話発信の非通知着信拒否設定メニュー表示になります。

3 ◎を押して[許可]か[拒否]を選択し、●を押す
- 選択した内容を設定します。

設定のしかた（ユーザー非通知の場合）

1 ●を押す
- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2 6 は MNO 1 あ 2 か ABC を押す
- ユーザー非通知の非通知着信拒否設定メニュー表示になります。

3 ◎を押して[許可]か[拒否]を選択し、●を押す
- 選択した内容を設定します。

●指定着信拒否

迷惑電話を防止するために指定した電話番号からの電話を受けないように設定できます。
最大で10件の電話番号を登録できます。

1 ●を押す
- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2 6 は MNO 2 か ABC を押す
- 指定着信拒否設定メニュー表示になります。

3 ◎を押して登録先のメモリ番号を選択し、●を押す

4 電話番号を入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。

MEMO
- 電話番号を入力するとき、”＊”が使用できます。
  ”＊”は先頭には入力できません。
  ”＊”以降にはダイヤルを入力できません。
  （例）「070＊」と登録すると、「070」で始まる番号は、すべて着信拒否されます。

●ドライブモード(安全運転モード)

公衆モード中(待ち受け中)において、自動車運転中など手が離せない状態のときに設定しておくと、着信があった場合に発信者に対して電話に出ることができないことを通知します。

- ドライブモード中は、着信があったことを通知するための着信音やバイブレータ駆動はしませんが、着信があったことをディスプレイに表示します。
  なお、110、118、119からの着信に関しては、その限りではありません。
- ネットワーク応答および電話機応答の可否、録音の有無を設定できます。(安全運転モード設定)
  ネットワーク応答のご利用に際しては、別途申し込みが必要です。

ドライブモードの設定

1 「カレンダー・時計」表示状態で[＊記号]を押し続ける

・ドライブモードが設定され、🚗を表示します。

ドライブモードの解除

1 「カレンダー・時計」表示状態で[＊記号]を押し続ける

・ドライブモードが解除され、🚗が消えます。

安全運転モード設定のしかた

1 ●を押す

・「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
・機能メニュー表示になります。

2 [6 は MNO][5 な JKL]を押す

・安全運転モード設定メニュー表示になります。

3 ◎を押して設定するモードを選択し、●を押す

・モードは、「ネットワーク応答録音無」、「ネットワーク応答録音有」、「電話機応答録音無」、「電話機応答録音有」のいずれかから選択します。
・選択したモードで設定します。

録音メッセージの再生

1 ●を押す

・「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
・機能メニュー表示になります。

2 [6 は MNO][6 は MNO]を押す

・録音メッセージメニュー表示になります。
・新規メッセージが登録されている場合、メッセージが再生されます。

3 ◎を押して[再生]を選択し、●を押す

・録音メッセージが再生されます。
・録音メッセージがない場合、選択できません。

録音メッセージの消去

1 「録音メッセージの再生」の手順1～2の操作をする

2 ◎を押して[消去]を選択し、●を押す

・録音メッセージを消去されます。
・録音メッセージがない場合、選択できません。

●メール機能

ウィルコムに公衆登録した場合、公衆モードでのメール機能が一部使用できます。
- 絵文字などの機能はご利用できません。
- 受信10件、送信10件のメールが保存できます。
- メール本文は、最大で全角45文字(半角90文字)まで作成できます。
- 10件以上の送受信を行った場合、古い順に上書きされます。
- メールに保護をかけると、上書きされることを防止できます。(メール保護は最大9件までかけることができます)
- メール本文に電話番号が入っている場合、本文表示から電話番号を選択し、電話をかけることができます。また、電話帳登録、メール作成を行うことができます。

メールを読む

1 ◎を押す
- メールメニュー表示になります。

2 ◎を押して[受信BOX]を選択し、●を押す
- 最新の受信メールのタイトルが表示されます。
- タイトルは、到着日時、未読／既読、送信者、本文(表示できるだけ)を表示します。

3 ◎を押して確認するメールを選択し、●を押す
- 選択したメールの本文が表示されます。

メール保護の設定／解除

1 「メールを読む」の手順1～3の操作をする

2 ●を押す
- メールBOXメニュー表示になります。

3 ◎を押して[保護設定]を選択し、●を押す
- 保護設定メニュー表示になります。

4 ◎を押して[保護設定]を選択し、●を押す
- 選択したメールが保護されます。

●解除するときは、[保護解除]を選択し、●を押す

メールの削除

1 「メールを読む」の手順1～3の操作をする

2 ●を押す
- メールBOXメニュー表示になります。

3 ◎を押して[一件削除]を選択し、●を押す
- メール1件削除メニュー表示になります。
- **全件削除をする場合、[受信メール全削除]を選択します。**

4 ◎を押して[はい]を選択し、●を押す
- 選択したメールが削除されます。(全件削除の場合は、すべての受信メールが削除されます)

メールの作成

1 ◎を押す
- メールメニュー表示になります。

2 ◎を押して[新規作成]を選択し、●を押す
- メールの新規作成画面が表示されます。

3 ◎を押して[To:]を選択し、●を押す
- 宛先選択画面が表示されます。

4 ◎を押して[電話帳検索]を選択し、●を押す
- 送信先の電話番号を直接入力する場合は、[直接入力]を選択し、●を押します。続けてダイヤルボタンで電話番号を入力し、●を押す。そのあと手順6へ進みます。

5 ◎を押して電話帳から送信先を選択し、●を押す

6 ◎を押して[本文:]を選択し、●を押す
- 本文編集画面が表示されます。

7 本文を入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 全角で最大45文字(半角90文字)入力できます。
- ◎を押すと前回の内容を編集することができます。
- 漢字変換は文字入力後、◎で候補を選択し、●で確定します。
- 文字 [■■]で文字入力モードを切り替えます。
  全角漢字(漢)→全角カナ(ア)→半角カナ(ｱｲ)→全角英字(A)→半角英字(AB)→数字(12)を繰り返します。
- [フック]を押すと改行できます。

8 ◎を押して[メール送信]を選択し、●を押す
- メール送信メニュー画面が表示されます。

9 ◎を押して[メール送信]を選択し、●を押す
- 作成したメールが送信されます。

メールの返信／転送

1 「メールを読む」の手順1～3の操作をする

2 ●を押す
- メールBOXメニュー表示になります。

3 ◎を押して[返信]を選択し、●を押す
- 返信メールの作成画面が表示されます。
- 転送する場合は、[転送]を選択し、●を押します。

4 送信先(To:)を確認する
- 変更する場合は、[To:]を選択し、●を押して編集します。(「メールの作成」の手順4～5の操作をする)

5 ◎を押して[本文:]を選択し、●を押す
- 本文編集画面が表示されます。
- 転送の場合(本文を編集しない場合)は、手順7へ進みます。

6 本文を入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 全角で最大45文字(半角90文字)入力できます。
- ◎を押すと前回の内容を編集することができます。
- 漢字変換は文字入力後、◎で候補を選択し、●で確定します。
- 文字 [■■]で文字入力モードを切り替えます。
  全角漢字(漢)→全角カナ(ア)→半角カナ(ｱｲ)→全角英字(A)→半角英字(AB)→数字(12)を繰り返します。
- [フック]を押すと改行できます。

7 ◎を押して[メール送信]を選択し、●を押す
- メール送信メニュー画面が表示されます。

8 ◎を押して[メール送信]を選択し、●を押す
- 作成したメールが送信されます。

メールの再送

1 ◎を押す
- メールメニュー表示になります。

2 ◎を押して[送信BOX]を選択し、●を押す
- 最新の送信メールのタイトルが表示されます。
- タイトルは、送信日時、送信先、本文(表示できるだけ)を表示します。

3 ◎を押して確認するメールを選択し、●を押す
- 選択したメールの本文が表示されます。

4 ●を押す
- メールBOXメニュー表示になります。

5 ◎を押して[再送]を選択し、●を押す
- 再送メールの作成画面が表示されます。

6 送信先(To:)を確認する
- 変更する場合は、[To:]を選択し、●を押して編集します。(「メールの作成」(☞ 18ページ)の手順4～5の操作をする)

7 本文(本文:)を確認する
- 変更する場合は、[本文:]を選択し、●を押して編集します。(「メールの作成」(☞ 18ページ)の手順6～7の操作をする)

8 ◎を押して[メール送信]を選択し、●を押す
- メール送信メニュー画面が表示されます。

9 ◎を押して[メール送信]を選択し、●を押す
- 作成したメールが送信されます。

●着信自動応答回数の設定

公衆モードでイヤホンマイク装着時の着信に自動応答するか、しないかを設定できます。また、自動応答する場合は鳴動回数(1～9回)を設定できます。
- お買い上げ時は、「自動応答しない」です。

1 ●を押す
- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2 3 さ DEF 6 は MNO を押す
- 着信自動応答回数設定メニューを表示します。

3 ◎を押して、「自動応答しない」または鳴動回数を選択し、●を押す
- 鳴動回数は、1～9回のいずれかから選択できます。
- 選択した内容を設定します。

●アンテナサーチ

1 「カレンダー・時計」表示状態で☎電源を押す
- 一度アンテナマークが消えて、再度アンテナマークが表示されます。

MEMO
- ☎電源を押し続けると、電源が切れますので、ご注意ください。

機能モード

●機能モードの使いかた

待機状態で、◉を押すと、機能メニュー表示となります。
機能メニュー表示から機能番号を選ぶことで、各種機能の設定／変更することができます。

1 ◉を押す

・「カレンダー・時計」表示状態で◉を押します。
・ 機能メニュー表示になります。

2 機能番号を入力する（または◇を押して機能を選択し、◉を押す）

3 選択機能の設定内容を変更する

・ ◇を押して設定を切り替えたり、ダイヤルボタンで番号や文字を入力します。

4 ◉を押す

・ 変更した設定内容を登録します。

●機能項目一覧

項目番号	項　　目	内　　容	お買い上げ時の設定
0	自局番号表示		
0	自局番号表示	公衆、会社1～8の自局番号を表示します。	（登録なし）
1	発信モード		
1 0	発信モード確認	現在の発信モードを表示します。	―
1 1	自営発信モード選択	自営発信モードを設定します。	会社1モード
1 1 0	自動待ち受けモード	会社1～8を切り替える機能（1面待ち）	―
1 1 1	会社1モード	会社1の1面待ちに設定します。	―
1 1 2	会社2モード	この機能は使用できません。	―
1 1 3	会社3モード		
1 1 4	会社4モード		
1 1 5	会社5モード		
1 1 6	会社6モード		
1 1 7	会社7モード		
1 1 8	会社8モード		
1 2	トランシーバモード選択	この機能は使用できません。	―
1 2 1	トランシーバ1モード		
1 2 2	トランシーバ2モード		
1 2 3	トランシーバ3モード		
1 2 4	トランシーバ4モード		
1 2 5	トランシーバ5モード		
1 2 6	トランシーバ6モード		
1 2 7	トランシーバ7モード		
1 2 8	トランシーバ8モード		
1 3	公衆発信モード	公衆の1面待ちに設定します。	―
1 4	2面モード（自営優先）	公衆、自営の2面待ちに設定します。	―
1 4 1	会社1、公衆モード	会社1、公衆の2面待ちに設定します。	―
1 4 2	会社2、公衆モード	この機能は使用できません。	―
1 4 3	会社3、公衆モード		
1 4 4	会社4、公衆モード		
1 4 5	会社5、公衆モード		
1 4 6	会社6、公衆モード		
1 4 7	会社7、公衆モード		
1 4 8	会社8、公衆モード		

つづく➡

項目番号			項　　目	内　　容	お買い上げ時の設定
1	5		2面モード（公衆優先）	公衆、自営の2面待ちに設定します。	ー
1	5	1	公衆、会社1モード	公衆、会社1の2面待ちに設定します。	ー
1	5	2	公衆、会社2モード	この機能は使用できません。	ー
1	5	3	公衆、会社3モード		
1	5	4	公衆、会社4モード		
1	5	5	公衆、会社5モード		
1	5	6	公衆、会社6モード		
1	5	7	公衆、会社7モード		
1	5	8	公衆、会社8モード		
	2		パスワードロック		
	2		パスワードロック	パスワードロックを設定できます。	ロック解除
	3		動作モード		
3	0		動作モード選択	通常・マナー・ユーザーの3種類	通常
3	1		通常モード	通常動作モードを設定します。	ー
3	1	1	着信音量	切・小・中・大・漸増の5段階	中
3	1	2	バイブレータ	切・入	切
3	1	3	キータッチトーン	キー操作時の確認音（切・入）	入
3	1	4	受話音量	小・中・大の3段階	大
3	1	5	メール送達確認音	切・入	入
3	2		マナーモード	マナーモードを設定します。	ー
3	2	1	着信音量	切・小・中・大・漸増の5段階	切
3	2	2	バイブレータ	入・切	入
3	2	3	キータッチトーン	キー操作時の確認音（切・入）	切
3	2	4	受話音量	小・中・大の3段階	中
3	2	5	メール送達確認音	入・切	切
3	3		ユーザーモード	ユーザーモードを設定します。	ー
3	3	1	着信音量	切・小・中・大・漸増の5段階	大
3	3	2	バイブレータ	入・切	入
3	3	3	キータッチトーン	キー操作時の確認音（切・入）	入
3	3	4	受話音量	小・中・大の3段階	大
3	3	5	メール送達確認音	入・切	入
3	4		着信音種	16種類の鳴動音を選択できます。	ー
3	4	1	会社外線	会社外線の鳴動音を設定します。	1
3	4	2	会社内線	会社内線の鳴動音を設定します。	2
3	4	3	トランシーバ	この機能は使用できません。	ー
3	4	4	公衆	公衆の鳴動音を設定します。	5
3	4	5	メール着信音	メール着信音の鳴動音を設定します。	3
3	5		リレー着信	バイブレータと着信音を時間差で起動する機能を設定します。	切
3	6		着信自動応答回数	イヤホンマイク装着時の着信に自動応答する場合の鳴動回数を設定します。（公衆モード利用時のみ）	自動応答しない
3	7		外線一般着信設定	この機能は使用できません。	ー
3	8		付加ダイヤル設定	発信時に使用する付加ダイヤルを登録します。 （例：184、186、0発信）	（登録なし）
	4		キー機能		
4	1		ファンクションボタン設定	会社モードでファンクションボタンをワンタッチダイヤルとして使用するときに設定します。	ー
4	1	1	システム（8ライン）	F1～F8をファンクションボタンで使用します。	初期設定
4	1	2	システム（6ライン）	F1～F6をファンクションボタン、F7、F8をワンタッチダイヤルで使用します。	ー
4	1	3	ワンタッチ	F1～F8をワンタッチダイヤルで使用します。	ー
4	2		ワンタッチダイヤル設定 （F1～F8）	ワンタッチダイヤルの電話番号、名前を設定します。	ー
4	3		短縮キーモード設定	会社モードでシステムの短縮ダイヤルあるいは電話機のローカル電話帳のいずれかのモードを設定する。（電話帳ボタンの操作時）	ローカル

つづく➡

項目番号			項　　目	内　　容	お買い上げ時の設定
5			電話帳機能		
5	1		新規登録	400件までの電話帳を登録します。 電話番号1:32桁までのダイヤル 電話番号2:32桁までのダイヤル 名前:全角8文字(半角16文字)までの名前 読み仮名:カタカナ12文字までの読み仮名	(登録なし)
5	2		初期表示設定	電話帳モードを起動したときに名前検索か、メモリ番号検索のいずれかのモードを設定します。	名前検索
5	3		全件削除	全ての電話帳を削除します。	―
6			公衆機能設定		
6	1		非通知着信拒否設定	公衆モードで発信者番号非通知の着信拒否を設定します。	―
6	1	1	通知不可能	発信者番号が通知不可能な場合の設定	許可
6	1	2	ユーザー非通知	ユーザー非通知の場合の設定	許可
6	1	3	公衆電話発信	公衆電話による発信の場合の設定	許可
6	2		指定着信拒否	指定した番号からの着信拒否を設定します。(10件)	(登録なし)
6	3		発番号通知設定	公衆モードの発信時に発番号の通知・非通知を設定します。	通知する
6	4		分計発信	分計発信時に設定をします。	―
6	5		安全運転モード設定	ドライブモードが設定されている状態でボイスメールを起動するか、しないかの設定をします。	―
6	5	1	ネットワーク応答録音無	ネットワークで応答し、録音はしません。	初期設定
6	5	2	ネットワーク応答録音有	ネットワークで応答し、録音します。	―
6	5	3	電話機応答録音無	電話機が応答し、録音はしません。	―
6	5	4	電話機応答録音有	電話機が応答し、録音します。	―
6	6		録音メッセージ	録音されたメッセージの再生・消去をします。	―
7			オプション機能		
7			データ通信コネクタの設定	データ通信ポートを設定できます。	―
7	1		電話帳編集モード	データ通信ポートを電話帳編集モードに設定します。	―
7	2		データ通信(公衆)	データ通信ポートを32k／64kベストエフォート方式に設定します。(公衆用)	初期設定
7	3		データ通信(会社)	データ通信ポートを32k／64kギャランティ方式に設定します。(会社用)	―
8			保守機能		
8	1		パスワード設定	パスワードロックおよび全設定初期化に使用するパスワードを設定します。	0000
8	2		LCD設定	LCD各種設定を行います。	―
8	2	1	LCDコントラスト	LCDコントラストを調節します。	中
8	2	2	バックライト点灯時間	0～60秒で設定可能	10秒
8	2	3	LCD表示サイズ	電話帳操作時に表示する文字サイズを大・小から選択できます。	小
8	3		内線データ特番設定	この機能は使用できません。	―
8	4		圏外警告音設定	設定時に圏外になったときの警告音の有無を設定します。	入
8	5		アラーム機能	各種アラームを設定します。	―
8	5	0	カレンダー時刻設定	年・月・日・時・分を設定します。	2007 年 1 月 1 日 00 時 00 分 月曜日
8	5	1	アラーム1設定	設定時刻にアラームを鳴動します。	00 時 00 分 切
8	5	2	アラーム2設定	設定時刻にアラームを鳴動します。	00 時 00 分 切
8	6		マイネーム	公衆モードで待ち受けの際、マイネーム表示の有無を設定します。	(設定なし)
8	9		完全消去＋初期化	機能モード内の全設定データおよび発着信履歴、電話帳、メール送受信データを工場出荷状態に戻します。	―
9			履歴管理		
9	1		発信履歴	20件までの発信を記憶し、履歴情報からリダイヤルまたは電話帳への登録ができます。	―
9	2		着信履歴	20件までの着信を記憶し、履歴情報から発信または電話帳への登録ができます。	―

●自局番号表示

公衆、会社1～8の自局番号を表示します。
- お買い上げ時は、「登録なし」です。

1 ●0わをんを押す
・ 公衆の自局番号を表示します。

2 ◎を押して会社1～8を切り替える
・ 会社1～8の自局番号を表示します。

●発信モードの確認

現在の発信モードを表示します。

1 ●1あ 0わをんを押す
・ 現在の発信モードを表示します。

●発信モードの設定

発信モードを設定します。
- 発信モードは、「会社1モード」、「公衆モード」、「会社1・公衆モード」（2面自営優先）、「公衆・会社1モード」（2面公衆優先）のみに対応しています。誤って他の発信モードを設定したときは、ご利用の発信モードに変更してください。
- 会社1、公衆モードの2面待受けに設定した場合、優先的に発信するモードの待受け状態表示を反転させて表示します。ただし、片方のモードが圏外の場合は、反転表示しません。（☞ 4ページ）
- お買い上げ時は、「会社1モード」です。

1 ●を押す
・「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
・ 機能メニュー表示になります。

2 設定する発信モードの機能番号を押す
・ 対応する発信モードの機能番号は以下のとおりです。

1あ 1あ 1あ	:会社1モード
1あ 3さDEF	:公衆モード
1あ 4た 1あ	:会社1・公衆モード
1あ 5な 1あ	:公衆・会社1モード

・ 指定した発信モードを設定します。

●パスワードロックの設定／解除

他の人が不正に使用するのを防止するために、パスワードを必要とするキーロックをかけることができます。
- パスワードを忘れるとパスワードロックが解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。

1 ●2かABCを押す
・ パスワード入力画面を表示します。

2 4桁のパスワードを入力し、●を押す
・ ダイヤルボタンで入力します。
・ お買い上げ時は「0000」です。
・ キーロックを設定します。
・ パスワードロック状態を🔑で表示します。

●解除するときは、設定の場合と同じ操作をする
・ パスワードロックが解除され🔑が消えます。

MEMO
- パスワードの設定方法については、「パスワード設定」（☞ 27ページ）を、ご参照ください。

●動作モードの設定

ご使用環境にあわせて、「通常モード」、「マナーモード」、「ユーザーモード」の3つのモードから選択できます。
また、動作モードごとに、着信音量／バイブレータ／キータッチトーン／受話音量／メール送達音が設定できます。

動作モードを選択する

1 ●3 さ DEF 0 わをん を押す
- 動作モードの選択メニューを表示します。

2 ◎を押して設定する動作モードを選択し、●を押す
- 動作モードは、「通常モード」、「マナーモード」、「ユーザーモード」のいずれから選択します。
- 選択した動作モードを設定します。

着信音量の設定（例：通常モードの場合）

1 ●3 さ DEF 1 あ を押す
- 通常モードの詳細メニューを表示します。
- マナーモードの場合、●3 さ DEF 2 か ABC を押します。
- ユーザーモードの場合、●3 さ DEF 3 さ DEF を押します。

2 ◎を押して[着信音量]を選択し、●を押す
- 着信音量の調節画面を表示します。

3 ◎を押して音量値を選択し、●を押す
- 音量は、「切」、「小」、「中」、「大」、「漸増」の5段階から選択します。
- 選択した音量を設定します。

バイブレータの設定（例：通常モードの場合）

1 「着信音量の設定」の手順1の操作をする

2 ◎を押して[バイブレータ]を選択し、●を押す
- バイブレータの設定画面を表示します。

3 ◎を押して[ON]か[OFF]を選択し、●を押す
- 選択した内容を設定します。

キータッチトーンの設定（例：通常モードの場合）

1 「着信音量の設定」の手順1の操作をする

2 ◎を押して[キータッチトーン]を選択し、●を押す
- キータッチトーンの設定画面を表示します。

3 ◎を押して[ON]か[OFF]を選択し、●を押す
- 選択した内容を設定します。

受話音量の設定（例：通常モードの場合）

1 「着信音量の設定」の手順1の操作をする

2 ◎を押して[受話音量]を選択し、●を押す
- 受話音量の調節画面を表示します。

3 ◎を押して音量値を選択し、●を押す
- 音量は、「小」、「中」、「大」の3段階から選択します。
- 選択した音量を設定します。

メール送達音の設定（例：通常モードの場合）

1 「着信音量の設定」の手順1の操作をする

2 ◎を押して[メール送達音]を選択し、●を押す
- メール送達音の設定画面を表示します。

3 ◎を押して[ON]か[OFF]を選択し、●を押す
- 選択した内容を設定します。

●着信音種の設定

会社、公衆、トランシーバ、メールの各発信モードにおける着信音を16種類の中から選ぶことができます。また、外線と内線の着信音を個別に設定できます。
● トランシーバについては、ご利用になれません。

1 ●3 さ DEF 4 た GHI を押す
・ 着信音種メニューを表示します。

2 ◎を押して着信種別を選択し、●を押す
・ 着信種別は、「会社外線」、「会社内線」、「トランシーバ」、「公衆」、「メール着信音」のいずれかから選択できます。
・ 「トランシーバ」はご利用になれません。

3 ◎を押して音種を選択し、●を押す
・ 音種は「01」～「16」の番号で選択します。
・ 音種を選択するごとに、スピーカからそれぞれの音が鳴ります。

MEMO
● DC600電話機は、システムで設定した着信音種別指定とは異なります。

●リレー着信機能の設定

着信のときに、初めに音で知らせて約10秒間応答しなかった場合、バイブレータと音が交互に動作するようにできます。
また、初めにバイブレータで知らせる場合も同様に動作します。

1 ●3 さ DEF 5 な JKL を押す
・ リレー着信メニューを表示します。

2 ◎を押して動作モードを選択し、●を押す
・ 動作モードは、「しない」、「音→バイブ」、「バイブ→音」のいずれかから選択できます。
・ 選択した動作モードを設定します。

MEMO
● リレー着信の動作 （充電台から上げている場合）

バイブレータの設定	着信音量	リレー着信機能の設定		
		「音→バイブ」表示	「バイブ→音」表示	「しない」表示
ON	入	バイブレータと音が交互に動作		－
ON	切	バイブレータだけ	リレー着信（バイブ→音）	－
OFF	入	リレー着信（音→バイブ）	音だけ	－
OFF	切	しばらくしてバイブレータ動作	しばらくして音が漸増	－

● 充電台に置いているときは、バイブレータは動作しません。

●付加ダイヤルの設定

発信時の付加ダイヤルをオリジナルデータとして2つ登録できます。
● 付加ダイヤルは電話帳に登録したダイヤルとあわせて32桁まで使用できます。

1 ●3 さ DEF 8 や TUV を押す
・ 付加ダイヤル設定メニューを表示します。

2 ◎を押して登録先のメモリ番号を選択し、●を押す

3 付加するダイヤルを入力し、●を押す
・ ダイヤルボタンで入力します。

●キーモード設定

会社1モードのとき、外線ボタンをワンタッチダイヤルとして使うことができます。
- 「システム（8Line）」は、外線ボタン1～8をシステムで使用する設定です。
- 「システム（6Line）」は、外線ボタン1～6をシステムで使用し、外線ボタン7，8をワンタッチダイヤルとして使用する設定です。
- 「ワンタッチ」は、外線ボタン1～8をワンタッチダイヤルとして使用する設定です。
  ※システムの外線ボタンとしての機能（割り付け機能を含む）は、すべて使用できなくなります。

1 ●4 た GHI 1 あを押す

・ キーモード設定メニューを表示します。

2 ◎を押して利用方法を選択し、●を押す

・ 利用方法は、「システム（8Line）」、「システム（6Line）」、「ワンタッチ」のいずれかから選択できます。
・ 選択した利用方法を設定します。

●ワンタッチダイヤルの設定

外線ボタンにワンタッチダイヤルを設定することができます。
電話番号とともに名前も登録できます。名前は最大全角8文字（半角16文字）、電話番号は最大32桁登録できます。
- 外線ボタンのモード設定を「ワンタッチ」または「システム（6Line）」にする必要があります。
  ※「システム（6Line）」の場合は外線ボタン7，8のみワンタッチダイヤルが設定できます。

1 ●4 た GHI 2 か ABCを押す

・ ワンタッチダイヤル設定メニューを表示します。

2 ◎を押して設定する外線ボタンを押す

3 ◎を押して[編集]を選択し、●を押す

4 電話番号を入力し、●を押す

・ ダイヤルボタンで入力します。

5 名前を入力し、●を押す

・ ダイヤルボタンで入力します。
・ 全角で最大8文字（半角16文字)入力できます。
・ 漢字変換は文字入力後、◎で候補を選択し、●で確定します。
・ 文字 ■■で文字入力モードを切り替えます。
  全角漢字（漢）→全角カナ（ア）→半角カナ（ｱｲ）→全角英字（A）→半角英字（AB）→数字（12）を繰り返します。
・ 入力しない場合は、●だけを押してください。

MEMO

- 入力できる文字は、DC600電話機のローカル機能（ ☞ 32ページ）をご覧ください。
- クリア 保留を押すと最後の1文字（カーソル位置）を消去します。

●電話帳ボタンの設定

会社モードで[電話帳ボタン](電話帳ボタン)をシステムで使用するか、電話機のローカル電話帳で使用するかを設定できます。
- システムで使用するに設定した場合、メニュー操作中は短縮ボタンとして動作します。
- システムで使用するに設定した場合、待ち受け画面で[電話帳ボタン]を押すと、内線捕捉状態になります。

1 ●[4 た GHI][3 さ DEF]を押す
- 短縮モード設定メニューを表示します。

2 ◎を押して動作モードを選択し、●を押す
- 動作モードは、「ローカル」、「システム」のどちらを選択します。
- 選択した動作モードを設定します。

●電話帳の初期表示設定

電話機のローカル電話帳を起動したときの検索モード(名前検索、メモリ番号検索)を設定します。
- お買い上げ時は、「名前検索」です。

1 ●[5 な JKL][2 か ABC]を押す
- 電話帳の初期表示設定メニューを表示します。

2 ◎を押して検索モードを選択し、●を押す
- 検索モードは、「名前検索」、「メモリ番号検索」のどちらを選択します。
- 選択した検索モードを設定します。

●パスワードの設定

パスワードロックに使用するパスワードを設定します。
- パスワードを忘れると、パスワードロックを解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。
- お買い上げ時は、「0000」です。

1 ●[8 や TUV][1 あ]を押す
- 旧パスワードの入力画面を表示します。

2 旧パスワードを入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- パスワードは、数字4桁で入力します。

3 新パスワードを入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- パスワードは、数字4桁で入力します。

●LCDコントラスト調節

LCDコントラストを5段階で調節できます。
● お買い上げ時は、「中」です。

1 ●8 や TUV 2 か ABC 1 あ を押す

2 ◎を押してコントラストを調節する
- 濃くする場合は◎を押します。
- 淡くする場合は◎を押します。

3 ●を押す
- コントラストが設定されます。

4 ☎電源を押す
- 「カレンダー・時計」表示に戻ります。

●バックライト点灯時間の設定

バックライトの点灯時間を0～60秒に設定できます。
● 「0秒」を設定した場合、バックライトは点灯しなくなります。
● お買い上げ時は、「10秒」です。

1 ●8 や TUV 2 か ABC 2 か ABC を押す
- バックライト点灯時間設定メニューを表示します。

2 点灯時間を入力し、●を押す
- ダイヤルボタンで入力します。
- 一度、待ち受け画面に戻ったあとに、設定が有効になります。

●LCD表示サイズの設定

電話帳操作時の文字サイズを大／小から選択できます。
● 大きな文字を選択した場合、電話帳検索時の表示は1画面につき1件ずつの表示になります。
● お買い上げ時は、「小」です。

1 ●8 や TUV 2 か ABC 3 さ DEF を押す
- 文字サイズ設定メニューを表示します。

2 ◎を押して文字サイズを選択し、●を押す
- 文字サイズは、「小」、「大」のどちらかを選択します。
- 選択した文字サイズを設定します。

●圏外警告音の設定

通話中に圏外になったときの警告音の有無を設定できます。
● お買い上げ時は、「ON」です。

1 ●8 や TUV 4 た GHI を押す
- 圏外警告音設定メニューを表示します。

2 ◎を押して[ON]か[OFF]を選択し、●を押す
- 選択した内容を設定します。

●時計の設定

電話機の日付、時刻を設定することができます。
- 会社モードでお使いのときは、システムから自動的に時計データがダウンロードされますので、設定は不要です。
- お買い上げ時は、「2007年1月1日 00時00分 月曜日」です。

1 ●8や TUV 5な JKL 0わをん を押す
・ カレンダー編集画面を表示します。

2 日付、時刻を入力し、●を押す
・ ダイヤルボタンで入力します。
・ 西暦、月、日、時、分の順で入力します。曜日は自動的に入力されます。
・ ●を押したときに、秒の単位を0秒に設定します。

●アラームの設定／解除

設定した時刻になるとアラームで知らせる機能を2件設定できます。
- お買い上げ時は、「解除（00時00分）」です。

1 ●8や TUV 5な JKL 1あ を押す
・ アラーム1の設定メニューを表示します。
・ アラーム2の場合は、●8や TUV 5な JKL 2か ABC を押します。

2 ◎を押して[設定]を選択し、●を押す
・ アラーム時刻の入力画面を表示します。

3 アラーム時刻を入力し、●を押す
・ ダイヤルボタンで入力します。
・ 時刻は24時間制で入力します。
例：午後3時15分は、「1515」と入力します。

●解除するときは、手順2で「解除」を選択し、●を押す

●マイネームの設定

公衆モードで表示する名前（マイネーム）を設定できます。
- お買い上げ時は、「設定なし」です。

1 ●8や TUV 6は MNO を押す
・ 名前編集画面を表示します。

2 名前を入力し、●を押す
・ ダイヤルボタンで入力します。
・ 全角で最大8文字（半角16文字）入力できます。
・ 漢字変換は文字入力後、◎で候補を選択し、●で確定します。
・ 文字 #で文字入力モードを切り替えます。
全角漢字（漢）→全角カナ（ア）→半角カナ（ｱｲ）→全角英字（A）→半角英字（AB）→数字（12）を繰り返します。

●全設定初期化

機能モード内の全設定データおよび発着信履歴、電話帳、メール送受信データを工場出荷状態に戻します。
● 全設定初期化を行うとパスワードも、お買い上げ時の「0000」に戻ります。

1 ●8や TUV 9ら WXYZを押す

・ パスワード入力画面を表示します。

2 4桁のパスワードを入力し、●を押す

・ ダイヤルボタンで入力します。
・ お買い上げ時は「0000」です。

3 1あを押す

・ 全設定が初期化されます。

③さいごに

故障かな？とお考えになる前に

こんなときは	お確かめください
DC600電話機	
まったく動作しない。	・ 電源は入っていますか。（☞ 6ページ） ・ 電池パックは充分に充電されていますか。また、ACアダプタが充電器または電源コンセントから抜けていませんか。（☞ 5ページ） ・ 電池パックは正しく取り付けられていますか。（☞ 5ページ） ・ 電池パックは消耗していませんか。（☞ 5ページ）
電話がかけられない。 または、着信音が鳴らない。	・ 電池パックは充分に充電されていますか。 ・ 接続装置から離れすぎていたり、表示部に「圏外」と表示されていませんか。（☞ 6ページ） ・ 近くに雑音を発生する機器がありませんか。 ・ 着信音が鳴らないように設定されていませんか。（☞ 8ページ） ・ 発信モードが正しく設定されていますか。（☞ 23ページ） ・ 接続装置の電話機コードが正しく接続され電源と通話のランプが正常に点灯または点滅していますか。（☞ 3ページ） ・ 自営発信モード（◉+1 *1 *）が「会社1」に設定されていますか。（☞ 23ページ） ・ ファンクションボタン設定（◉+4 5JKL 1 *）が「システム（6Line）」に設定されていますか。（☞ 26ページ）
通話が時々とぎれる。	・ 接続装置から離れすぎていませんか。（☞ 6ページ） ・ 近くに雑音を発生する機器がありませんか。また、接続装置との間に電波をさえぎる障害物はありませんか。 ・ アンテナの向きを変えたり、場所を移動すると良くなりませんか。
充電中に充電ランプが点灯しない。	・ 子機や充電器の充電端子が汚れていませんか。（☞ 6ページ） ・ ACアダプタが充電または電源コンセントから抜けていませんか。（☞ 5ページ）
規定時間以上充電しても使用できない。	・ 子機や充電器の充電端子が汚れていませんか。（☞ 6ページ） ・ ACアダプタが充電または電源コンセントから抜けていませんか。（☞ 5ページ） ・ 電池パックが寿命になっていませんか。（☞ 5ページ）
発信や着信応答の操作ができない。	・ アンテナの表示が消灯していませんか。消灯している場合は、点灯を待ってから、もう一度操作してください。 ・ キーロックが設定されていませんか。（☞ 12ページ） ・ パスワードロックが設定されていませんか。（☞ 27ページ）

MEMO

DC600電話機での注意事項について

- プリセット発信時、ダイヤルを押しているときに着信があると、電話番号の表示が消え、ボタンの入力を受け付けなくなり発信ができなくなります。着信に応答するか、空いている外線ボタンを押したあとにダイヤルを入力して発信してください。
- 外線再捕捉をすぐに行うとエラーとなることがあります。そのときは、アンテナが表示されていることを確認してからかけ直してください。
- 外線着信時、他の電話機とほぼ同時に応答すると、外線ランプが一瞬緑点滅して、赤点灯になります。

文字、番号入力のしかた

●DC600電話機のローカル機能

設定モード、電話帳登録で文字を入力するときの、各入力モードにおけるボタンと文字の対応を示します。

ボタン	漢字／かな モード	全角カタカナ モード	半角カタカナ モード	全角英字 モード	半角英字 モード	数字 モード	記事
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	１．，－：；‘“！＃＄％＆ （）＊＋／＜＝＞？＠	1.,-:;’”!#$%& ()*+?<=>?@	1	
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ｶｷｸｹｺ	ＡＢＣａｂｃ２	ABCabc2	2	
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ｻｼｽｾｿ	ＤＥＦｄｅｆ３	DEFdef3	3	
4 た GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	ＧＨＩｇｈｉ４	GHIghi4	4	
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ﾅﾆﾇﾈﾉ	ＪＫＬｊｋｌ５	JKLjkl5	5	
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	ＭＮＯｍｎｏ６	MNOmno6	6	
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	ﾏﾐﾑﾒﾓ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	PQRSpqrs7	7	
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	ＴＵＶｔｕｖ８	TUVtuv8	8	
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	WXYZwxyz9	9	
0 わをん	わをん	ワヲン	ﾜｦﾝ	０	0	0	
＊ 記号	記号	記号	記号	記号	記号	＊	
＃ ゛゜ マナー	゛゜	゛゜	ﾞﾟ	－	－	＃	
クリア 保留	一文字クリア（１秒以上長く押すと一項目すべてクリア）						クリア
●	文字決定／入力終了						
↑	カーソルを１行上						
↓	カーソルを１行下						
→	カーソルを右に移動						
←	カーソルを左に移動						
文字	文字の入力モード切替（かな・漢字／全角カタカナ／半角カタカナ／全角英字／半角英字／数字）						

・ システムの電話帳を登録するときの文字入力は、ローカル機能の電話帳登録の場合と異なりますので、ご注意ください。
・ 発信時にポーズダイヤルを入力する場合、＊記号を1秒以上長く押すことで入力できます。
・ 文字入力時に☎を押すことで、通常「あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ」と変換されるのを、「あ→☎→お→ぇ→ぅ→ぃ→ぁ→お→え・・・」とします。（一文字確定ごとに通常動作に戻ります）
・ メール本文編集中の文字入力時にフックを押すと改行が入力できます。

サクサ株式会社

886BT	083-1	Z

この資料の内容は、平成２０年３月現在のものです。